

## 化学的に修飾されたウリ科植物アスコルビン酸オキシダーゼ

Cat. No. DIA-283

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

アスコルビン酸をデヒドロアスコルビン酸に酸化する酸化還元酵素。液体試験の改善された安定性を活用してください。この製品の実績のある診断品質に依存してください。

#### 用途

アスコルビン酸酸化酵素（化学的に修飾された）を使用して、アスコルビン酸の干渉を排除するため、さまざまな診断テストで使用します。アスコルビン酸は、分析物の比色定量に広く使用されるトリンダー反応に干渉します。これは、尿酸、乳酸、またはクレアチニンの測定など、液体および乾燥化学テストの両方に役立ちます。

#### 別名

アスコルペース；アスコルビン酸オキシダーゼ；アスコルビン酸酸化酵素；アスコルビン酸オキシダーゼ；アスコルビン酸脱水素酵素；L-アスコルビン酸オキシダーゼ；AAO；L-アスコルビン酸；O<sub>2</sub>酸化還元酵素；AAオキシダーゼ；L-アスコルビン酸オキシダーゼ

### 製品情報

#### 由来

ウリ科の種

#### 外観

ターコイズ凍結乾燥物

#### 分子量

Approximately 140 kD

#### 活性

>180 U/mg リオフィライズ (+37°C, L-アスコルビン酸); 特異的活性 (+37°C): >1,800 U/mg タンパク質

#### 混入物

カタラーゼ: <0.2 グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ (AST): <0.0003 グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ (ALT): <0.0005 汚染酸化酵素 (FOX): <0.0002

#### 等電点

5.0-6.0

#### pH安定性

6.5-9.0

#### 最適pH

5.6-7.0

#### 熱安定性

最大 +70°C

#### ミカエリス定数

L-アスコルビン酸塩: 3 x 10<sup>-4</sup> mol/l

#### 特異性

いくつかのアスコルバートのアノログが反応します。

#### 阻害剤

4-クロロ水銀ベンゾエート, CN-, Na<sub>2</sub>S, ジエチルジチオカルバメート, 8-ヒドロキシキノリン, K-エチルキサンテート

### 保管・発送情報

#### 安定性

-15から-25°Cの範囲内で12ヶ月間の仕入範囲内。乾燥した場所に保管してください。しっかりと密封してください。